

通貨分散外国債券ファンド

愛称:十二航路

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限です。	
運用方針	この投資信託は、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	通貨分散外国債券ファンド	「通貨分散外国債券マザーファンド」を主要投資対象とします。なお、債券に直接投資する場合があります。
	通貨分散外国債券マザーファンド	様々な通貨の国の国債、州債、政府保証債、国際機関債を主要投資対象とします。
組入制限	通貨分散外国債券ファンド	株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合については制限を設けません。
	通貨分散外国債券マザーファンド	株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資については制限を設けません。
分配方針	月1回（毎月5日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定いたします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

第136期（決算日	2016年11月7日）
第137期（決算日	2016年12月5日）
第138期（決算日	2017年1月5日）
第139期（決算日	2017年2月6日）
第140期（決算日	2017年3月6日）
第141期（決算日	2017年4月5日）

受益者のみなさまへ

平素は「通貨分散外国債券ファンド」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第136期から第141期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉
サポートデスク 0120-565787
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額				債組比	券入率	純資産額
		(分配落)	税分	込配	み金			
		円		円		%	%	百万円
第20作成期	(第112期)2014年11月5日	9,176		37		3.7	96.4	919
	(第113期)2014年12月5日	9,529		37		4.3	96.3	953
	(第114期)2015年1月5日	9,270		37		△2.3	96.7	920
	(第115期)2015年2月5日	8,897		37		△3.6	96.9	873
	(第116期)2015年3月5日	8,999		37		1.6	96.1	775
	(第117期)2015年4月6日	8,866		37		△1.1	96.3	750
第21作成期	(第118期)2015年5月7日	8,973		37		1.6	96.6	756
	(第119期)2015年6月5日	9,052		37		1.3	96.5	756
	(第120期)2015年7月6日	8,744		37		△3.0	96.3	726
	(第121期)2015年8月5日	8,709		37		0.0	96.1	722
	(第122期)2015年9月7日	8,089		37		△6.7	96.8	667
	(第123期)2015年10月5日	8,186		37		1.7	96.8	671
第22作成期	(第124期)2015年11月5日	8,205		37		0.7	97.5	665
	(第125期)2015年12月7日	8,305		37		1.7	97.1	670
	(第126期)2016年1月5日	7,820		37		△5.4	97.2	626
	(第127期)2016年2月5日	7,766		37		△0.2	94.9	621
	(第128期)2016年3月7日	7,610		37		△1.5	95.6	603
	(第129期)2016年4月5日	7,562		37		△0.1	95.6	594
第23作成期	(第130期)2016年5月6日	7,337		37		△2.5	95.4	573
	(第131期)2016年6月6日	7,243		37		△0.8	94.9	565
	(第132期)2016年7月5日	6,973		37		△3.2	94.9	533
	(第133期)2016年8月5日	6,863		37		△1.0	96.2	524
	(第134期)2016年9月5日	7,025		37		2.9	96.9	534
	(第135期)2016年10月5日	6,867		37		△1.7	96.7	520
第24作成期	(第136期)2016年11月7日	6,801		37		△0.4	96.6	514
	(第137期)2016年12月5日	7,142		37		5.6	97.3	538
	(第138期)2017年1月5日	7,209		37		1.5	97.3	540
	(第139期)2017年2月6日	7,144		37		△0.4	97.7	530
	(第140期)2017年3月6日	7,070		37		△0.5	97.6	517
	(第141期)2017年4月5日	6,866		37		△2.4	97.6	500

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、親投資信託への投資を通じて、原則として米ドル、ユーロ、円を除いた通貨の債券を投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。

◎ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 比	券 入 率
			騰	落		
第136期	(期 首)2016年10月5日	6,867	円	—	%	%
	10月末	6,806		△0.9		96.5
	(期 末)2016年11月7日	6,838		△0.4		96.6
第137期	(期 首)2016年11月7日	6,801		—		96.6
	11月末	7,113		4.6		96.5
	(期 末)2016年12月5日	7,179		5.6		97.3
第138期	(期 首)2016年12月5日	7,142		—		97.3
	12月末	7,183		0.6		97.3
	(期 末)2017年 1月5日	7,246		1.5		97.3
第139期	(期 首)2017年 1月5日	7,209		—		97.3
	1月末	7,208		△0.0		97.2
	(期 末)2017年 2月6日	7,181		△0.4		97.7
第140期	(期 首)2017年 2月6日	7,144		—		97.7
	2月末	7,106		△0.5		97.7
	(期 末)2017年 3月6日	7,107		△0.5		97.6
第141期	(期 首)2017年 3月6日	7,070		—		97.6
	3月末	7,013		△0.8		97.6
	(期 末)2017年 4月5日	6,903		△2.4		97.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

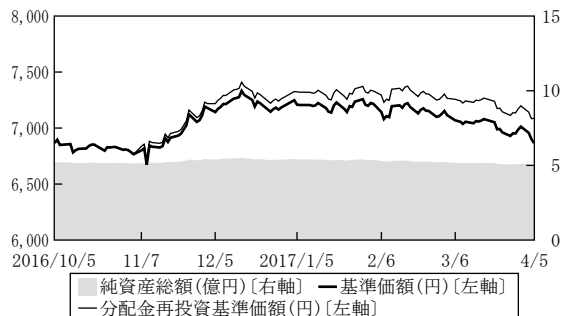
(注3) 当ファンドは、親投資信託への投資を通じて、原則として米ドル、ユーロ、円を除いた通貨の債券を投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎ 当作成期中の運用経過と今後の運用方針 (2016年10月6日～2017年4月5日)

1 基準価額と収益分配金

(1) 基準価額の推移と主な変動要因

当作成期の基準価額の推移



※ 分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものととして算出しております。

基準価額は作成期首6,867円で始まり作成期末6,866円で終わりました。騰落率(分配金再投資ベース)は、+3.2%でした。

基準価額の変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・米国で新政権の掲げる減税、インフラ投資等による景気浮揚期待が高まったことや中国経済が底堅く推移したことなどから、リスク性資産を選好する流れとなり、円に対してオーストラリアドルやカナダドルなどの組入通貨が上昇したこと
- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと

(下落要因)

- ・米国で新政権の掲げる経済対策への期待や期待インフレ率の上昇加速、FRB(米連邦準備制度理事会)による政策金利の引き上げなどから、米国を中心に世界的に長期金利が大幅に上昇(債券価格は下落)したこと

(2) 収益分配金

- ・収益分配については、分配対象額の水準、基準価額水準を勘案し、1万口当たり下表の通りとさせていただきます。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位: 円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
	2016年10月6日～ 2016年11月7日	2016年11月8日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月5日	2017年1月6日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日	2017年3月7日～ 2017年4月5日
当期分配金	37	37	37	37	37	37
(対基準価額比率)	0.541	0.515	0.511	0.515	0.521	0.536
当期の収益	16	23	22	18	15	16
当期の収益以外	20	13	14	18	21	20
翌期繰越分配対象額	438	424	410	392	371	350

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

2 運用経過

(1) 運用概況

当ファンドは「通貨分散外国債券マザーファンド」に投資することにより実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みになっています。マザーファンドへの投資比率を高位に保つとの作成期首の運用方針を踏まえ、当作成期を通じてマザーファンドへの投資比率を高位に保ちました。

(2) 通貨分散外国債券マザーファンドの運用概況 (2016年10月6日～2017年4月5日)

作成期首の運用方針に基づき、様々な通貨の国の国債、州債、政府保証債、国際機関債を主要投資対象とし安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。債券の組入比率は高位を維持しました。

当作成期のカントリーアロケーションについては、引き続き南アフリカを非保有としました。

組入比率を高め維持してきたカナダについては、今後米国の財政政策や国境調整税などの検討によっては不安定な推移となる可能性があること、中央銀行は輸出や設備投資を進めるためにカナダドル安を志向する可能性が高いことなどを考慮し、組入比率を引き下げました。英国については、6月にEU（欧州連合）離脱の是非を問う国民投票の結果がEU離脱となったことを受け、これまでも組入比率を引き下げてきましたが、今後予想される貿易由来の景気動向の悪化や経常収支を安定させるための政策金利の調整などは改めてポンドに悪影響を及ぼすと判断し、2017年1月にも売却を実施しました。一方で、スウェーデンについては良好な景気動向から金融緩和姿勢の転換の可能性を考慮し、組入比率を引き上げました。また、スウェーデン国債に対し優位性のある国際機関債等を組み入れました。

作成期首比では、スウェーデンの組入比率を大きく引き上げた一方、英国、カナダの組入比率を引き下げ、全体の残存年数はやや短くなりました。

これらの結果、作成期末の通貨別債券組入比率等は次表の通りとなりました。

【通貨別債券組入比率等】 作成期首 (2016年10月5日)

	組入比率	修正デュレーション(年)	平均終利	残存年数(年)
ポンド	10.16%	6.16	0.51%	6.89
カナダドル	23.62%	8.79	1.75%	11.74
オーストラリアドル	27.62%	4.06	1.99%	4.68
ニュージーランドドル	10.39%	3.43	2.17%	3.81
ノルウェークロネ	15.94%	2.85	0.77%	3.03
スウェーデンクロナ	9.45%	5.54	0.34%	6.18
南アフリカランド	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
現金等	2.83%	—	—	—
合計	100.00%	5.31	1.43%	6.11

(注)通貨分散外国債券マザーファンドベース。純資産総額比。



作成期末 (2017年4月5日)

	組入比率	修正デュレーション(年)	平均終利	残存年数(年)
ポンド	7.20%	7.76	0.83%	9.63
カナダドル	19.78%	8.82	2.33%	11.82
オーストラリアドル	27.58%	3.77	2.20%	4.49
ニュージーランドドル	10.82%	3.00	2.46%	3.31
ノルウェークロネ	16.39%	2.48	0.70%	2.66
スウェーデンクロナ	16.34%	5.27	0.60%	5.63
南アフリカランド	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
現金等	1.88%	—	—	—
合計	100.00%	5.02	1.64%	5.85

(注)通貨分散外国債券マザーファンドベース。純資産総額比。

【各国金利動向】各国10年国債利回り

(%)	2016年10月5日	2017年4月5日	変化幅
英国	0.82	1.09	0.28
カナダ	1.09	1.56	0.47
オーストラリア	2.13	2.61	0.48
ニュージーランド	2.47	3.09	0.63
ノルウェー	1.29	1.64	0.35
スウェーデン	0.26	0.59	0.33
南アフリカ	8.70	9.03	0.33

※データ出所：Bloomberg

※南アフリカの10年国債利回りは、Bloomberg算出のフェアマーケットカーブに基づく10年国債利回りです。

【為替動向】対円為替レート(TTM)

(円)	2016年10月5日	2017年4月5日	変化幅
ポンド	130.80	137.82	7.02
カナダドル	77.91	82.66	4.75
オーストラリアドル	78.36	83.84	5.48
ニュージーランドドル	73.85	77.35	3.50
ノルウェークローネ	12.83	12.90	0.07
スウェーデンクローナ	11.96	12.30	0.34
南アフリカランド	7.43	8.13	0.70

※為替レートは基準日当日のTTM(対顧客電信売買相場の仲値)を使用。

当作成期の基準価額の変動については以下の通りです。

- ・債券市場要因は、すべての組入国の長期金利が上昇（債券価格は下落）したことからマイナスとなりました。
- ・為替市場要因は、すべての組入通貨が対円で上昇したことからプラスとなりました。

3 今後の運用方針

(1) 当ファンドの運用方針

引き続き「通貨分散外国債券マザーファンド」への投資を通じて外国債券に投資を行い、マザーファンドへの投資比率を高位に保つ方針です。

(2) 通貨分散外国債券マザーファンドの運用方針

後述の同マザーファンドの運用報告書をご参照下さい。

◎1万口当たりの費用明細

項目	第136期～第141期		項目の概要
	2016年10月6日～2017年4月5日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38円	0.539%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は7,071円です。
(投信会社)	(17)	(0.242)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(19)	(0.269)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.010	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	39	0.549	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2016年10月6日～2017年4月5日)

○親投資信託の設定、解約状況

	第 136 期 ～ 第 141 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
通貨分散外国債券マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	—	—	24,836	40,470

(注) 単位未満は切り捨て。

◎利害関係人との取引状況等(2016年10月6日～2017年4月5日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○親投資信託残高

種 類	第23作成期末	第 24 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
通貨分散外国債券マザーファンド	千口	千口	千円
	335,265	310,428	497,617

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 通貨分散外国債券マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(1,955,598千口)です。

◎投資信託財産の構成

2017年4月5日現在

項 目	第 24 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
通貨分散外国債券マザーファンド	497,617	98.9
コール・ローン等、その他	5,683	1.1
投資信託財産総額	503,300	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 通貨分散外国債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(3,121,759千円)の投資信託財産総額(3,134,915千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1カナダドル=82.66円、1ポンド=137.82円、1スウェーデンクローナ=12.30円、1ノルウェークローネ=12.90円、1オーストラリアドル=83.84円、1ニュージーランドドル=77.35円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2016年11月7日現在 2016年12月5日現在 2017年1月5日現在 2017年2月6日現在 2017年3月6日現在 2017年4月5日現在

項 目	第136期末	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末
(A) 資 産	518,165,214円	542,920,895円	543,569,345円	534,693,324円	521,369,321円	503,300,135円
コール・ローン等	5,788,759	5,838,309	5,838,149	5,864,550	5,687,606	5,682,862
通貨分散外国債券マザーファンド(評価額)	512,376,455	536,322,586	537,731,196	528,088,774	514,951,715	497,617,273
未 収 入 金	—	760,000	—	740,000	730,000	—
(B) 負 債	3,308,688	3,952,220	3,277,884	3,989,227	3,870,848	3,164,643
未 払 収 益 分 配 金	2,801,184	2,792,109	2,773,001	2,748,752	2,708,224	2,695,149
未 払 解 約 金	—	718,500	—	721,600	714,500	—
未 払 信 託 報 酬	504,664	436,621	497,402	508,842	435,964	455,062
そ の 他 未 払 費 用	2,840	4,990	7,481	10,033	12,160	14,432
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	514,856,526	538,968,675	540,291,461	530,704,097	517,498,473	500,135,492
元 本	757,076,896	754,624,309	749,459,848	742,906,209	731,952,555	728,418,892
次 期 繰 越 損 益 金	△242,220,370	△215,655,634	△209,168,387	△212,202,112	△214,454,082	△228,283,400
(D) 受 益 権 総 口 数	757,076.896口	754,624.309口	749,459.848口	742,906.209口	731,952.555口	728,418.892口
1万口当たり基準価額(C/D)	6.801円	7.142円	7.209円	7.144円	7.070円	6.866円

(注1) 当ファンドの第136期首元本額は758,039,490円、第136～141期中追加設定元本額は260,292円、第136～141期中一部解約元本額は29,880,890円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第136期0.6801円、第137期0.7142円、第138期0.7209円、第139期0.7144円、第140期0.7070円、第141期0.6866円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第136期242,220,370円、第137期215,655,634円、第138期209,168,387円、第139期212,202,112円、第140期214,454,082円、第141期228,283,400円です。

◎損益の状況

項 目	〔自 2016年10月6日 至 2016年11月7日〕	〔自 2016年11月8日 至 2016年12月5日〕	〔自 2016年12月6日 至 2017年 1月5日〕	〔自 2017年1月6日 至 2017年2月6日〕	〔自 2017年2月7日 至 2017年3月6日〕	〔自 2017年3月7日 至 2017年4月5日〕
	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
(A) 有価証券売買損益	△ 1,755,444円	29,010,596円	8,283,942円	△ 1,602,168円	△ 2,234,373円	△ 11,711,857円
売 買 益	6,368	29,086,131	8,348,610	35,244	44,831	29,136
売 買 損	△ 1,761,812	△ 75,535	△ 64,668	△ 1,637,412	△ 2,279,204	△ 11,740,993
(B) 信託報酬等	△ 507,468	△ 439,043	△ 500,158	△ 511,663	△ 438,380	△ 457,581
(C) 当期損益金(A+B)	△ 2,262,912	28,571,553	7,783,784	△ 2,113,831	△ 2,672,753	△ 12,169,438
(D) 前期繰越損益金	△234,426,425	△237,137,980	△208,864,315	△201,005,144	△201,489,513	△204,292,890
(E) 追加信託差損益金	△ 2,729,849	△ 4,297,098	△ 5,314,855	△ 6,334,385	△ 7,583,592	△ 9,125,923
(配当等相当額)	(34,780,747)	(33,106,297)	(31,842,023)	(30,510,352)	(28,730,435)	(27,026,134)
(売買損益相当額)	(△ 37,510,596)	(△ 37,403,395)	(△ 37,156,878)	(△ 36,844,737)	(△ 36,314,027)	(△ 36,152,057)
(F) 計 (C+D+E)	△239,419,186	△212,863,525	△206,395,386	△209,453,360	△211,745,858	△225,588,251
(G) 収益分配金	△ 2,801,184	△ 2,792,109	△ 2,773,001	△ 2,748,752	△ 2,708,224	△ 2,695,149
次期繰越損益金(F+G)	△242,220,370	△215,655,634	△209,168,387	△212,202,112	△214,454,082	△228,283,400
追加信託差損益金	△ 4,296,791	△ 5,342,050	△ 6,377,465	△ 7,684,472	△ 9,156,885	△ 10,591,312
(配当等相当額)	(33,213,891)	(32,061,456)	(30,779,499)	(29,160,384)	(27,157,241)	(25,560,854)
(売買損益相当額)	(△ 37,510,682)	(△ 37,403,506)	(△ 37,156,964)	(△ 36,844,856)	(△ 36,314,126)	(△ 36,152,166)
繰越損益金	△237,923,579	△210,313,584	△202,790,922	△204,517,640	△205,297,197	△217,692,088

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第136期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,234,242円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(34,780,833円)より分配対象収益は36,015,075円(10,000口当たり475円)であり、うち2,801,184円(10,000口当たり37円)を分配金額としております。

第137期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,747,157円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(33,106,408円)より分配対象収益は34,853,565円(10,000口当たり461円)であり、うち2,792,109円(10,000口当たり37円)を分配金額としております。

第138期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,710,391円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(31,842,109円)より分配対象収益は33,552,500円(10,000口当たり447円)であり、うち2,773,001円(10,000口当たり37円)を分配金額としております。

第139期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,398,665円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(30,510,471円)より分配対象収益は31,909,136円(10,000口当たり429円)であり、うち2,748,752円(10,000口当たり37円)を分配金額としております。

第140期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,134,931円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(28,730,534円)より分配対象収益は29,865,465円(10,000口当たり408円)であり、うち2,708,224円(10,000口当たり37円)を分配金額としております。

第141期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,229,760円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(27,026,243円)より分配対象収益は28,256,003円(10,000口当たり387円)であり、うち2,695,149円(10,000口当たり37円)を分配金額としております。

◎収益分配金のお知らせ

決 算 期	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
1万口当たりの分配金	37円	37円	37円	37円	37円	37円

※分配金をお支払いする場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

※分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

通貨分散外国債券マザーファンド

運用報告書

第12期

(決算日 2017年4月5日)

「通貨分散外国債券マザーファンド」は、2017年4月5日に第12期決算を行いました。
以下、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	この投資信託は、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	様々な通貨の国の国債、州債、政府保証債、国際機関債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資については制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準 額	騰落率		債券組 入率	純資 産額
		期騰	落中率		
(第8期)2013年4月5日	16,856	23.6	%	96.4	5,062
(第9期)2014年4月7日	17,010	0.9	%	96.2	4,447
(第10期)2015年4月6日	18,052	6.1	%	97.3	4,150
(第11期)2016年4月5日	16,404	△9.1	%	96.5	3,489
(第12期)2017年4月5日	16,030	△2.3	%	98.1	3,134

(注)当ファンドは、原則として米ドル、ユーロ、円を除いた通貨の債券を投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準 額	騰落率		債券組 入率
		騰	落率	
(期首)2016年 4月5日	16,404	—	%	96.5
4月末	16,465	0.4	%	95.9
5月末	16,266	△0.8	%	94.6
6月末	15,355	△6.4	%	95.3
7月末	15,528	△5.3	%	96.6
8月末	15,489	△5.6	%	96.5
9月末	15,262	△7.0	%	97.1
10月末	15,323	△6.6	%	97.0
11月末	16,121	△1.7	%	97.0
12月末	16,379	△0.2	%	97.8
2017年 1月末	16,537	0.8	%	97.6
2月末	16,400	△0.0	%	98.2
3月末	16,285	△0.7	%	98.1
(期末)2017年 4月5日	16,030	△2.3	%	98.1

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドは、原則として米ドル、ユーロ、円を除いた通貨の債券を投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2016年4月6日～2017年4月5日)

1 基準価額

基準価額の推移と主な変動要因



基準価額は期首16,404円で始まり期末16,030円で終わりました。騰落率は、△2.3%でした。

基準価額の変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・英国のEU（欧州連合）離脱問題で景気への悪影響が懸念されるなか、2016年8月に英中銀から相次いで追加金融緩和策が打ち出され、英国の金利が低下（債券価格は上昇）したこと
- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと

(下落要因)

- ・6月の英国のEU離脱を巡る一連の報道で世界経済の先行き不透明感が高まり、ポンドを筆頭に過半の組入通貨が円に対して下落したこと
- ・11月以降に米国で新政権の掲げる経済対策への期待や期待インフレ率の上昇加速、FRB（米連邦準備制度理事会）による政策金利の引き上げなどから、英国を除く組入国の長期金利が上昇（債券価格は下落）したこと

2 運用経過

運用概況

期首の運用方針に基づき、様々な通貨の国の国債、州債、政府保証債、国際機関債を主要投資対象とし安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。債券の組入比率は高位に維持しました。

当期のカントリーアロケーションについては、引き続き南アフリカを非保有としました。

カナダにおいては、金利低下を続けてきたことを踏まえ、利益確定のため超長期債から長期債への入れ替えを実施しました。また、スウェーデン、オーストラリアなどでは、利回り水準の低い国債や政府機関債などを売却し、相対的に利回り水準に妙味のある国際機関債等に入れ替え、ファンド全体の債券利回りの水準を引き上げました。英国については、EU離脱の是非を問う国民投票の結果がEU離脱となったことを受け、期を通じて段階的に組入比率を引き下げました。一方で、スウェーデンについては良好な景気動向から金融緩和姿勢の転換の可能性を考慮し、組入比率を引き上げました。

期首比では、オーストラリア、ノルウェー、スウェーデンの組入比率が上昇した一方、英国、カナダ、ニュージーランドの組入比率は低下、全体の残存年数はほぼ横ばいとなりました。

【通貨別債券組入比率等】
期首（2016年4月5日）

	組入比率	修正デュレーション(年)	平均終利	残存年数(年)
ポンド	15.17%	5.15	0.89%	5.77
カナダドル	22.99%	9.53	2.09%	13.50
オーストラリアドル	25.74%	3.20	2.23%	3.77
ニュージーランドドル	11.16%	3.55	2.34%	3.97
ノルウェークローネ	15.54%	3.24	0.49%	3.53
スウェーデンクローナ	5.92%	2.78	△0.46%	2.93
南アフリカランド	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
現金等	3.46%	—	—	—
合計	100.00%	5.03	1.55%	5.98

(注)純資産総額比。



期末（2017年4月5日）

	組入比率	修正デュレーション(年)	平均終利	残存年数(年)
ポンド	7.20%	7.76	0.83%	9.63
カナダドル	19.78%	8.82	2.33%	11.82
オーストラリアドル	27.58%	3.77	2.20%	4.49
ニュージーランドドル	10.82%	3.00	2.46%	3.31
ノルウェークローネ	16.39%	2.48	0.70%	2.66
スウェーデンクローナ	16.34%	5.27	0.60%	5.63
南アフリカランド	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
現金等	1.88%	—	—	—
合計	100.00%	5.02	1.64%	5.85

(注)純資産総額比。

【各国金利動向】各国10年国債利回り

(%)	2016年4月5日	2017年4月5日	変化幅
英国	1.38	1.09	△0.28
カナダ	1.17	1.56	0.39
オーストラリア	2.45	2.61	0.15
ニュージーランド	2.86	3.09	0.24
ノルウェー	1.20	1.64	0.44
スウェーデン	0.44	0.59	0.15
南アフリカ	9.31	9.03	△0.28

※データ出所：Bloomberg

※南アフリカの10年国債利回りは、Bloomberg算出のフェアマーケットカーブに基づく10年国債利回りです。

【為替動向】対円為替レート（TTM）

(円)	2016年4月5日	2017年4月5日	変化幅
ポンド	158.42	137.82	△20.60
カナダドル	84.74	82.66	△2.08
オーストラリアドル	84.20	83.84	△0.36
ニュージーランドドル	75.56	77.35	1.79
ノルウェークローネ	13.33	12.90	△0.43
スウェーデンクローナ	13.67	12.30	△1.37
南アフリカランド	7.48	8.13	0.65

※為替レートは基準日当日のTTM(対顧客電信売買相場の仲値)を使用。

当期の基準価額の変動については以下の通りです。

- 債券市場要因は、英国を除く組入国の長期金利が上昇（債券価格は下落）したことからキャピタルロスが発生しましたが、利息収入の積み上がりによるインカムゲインが上回り、全体ではプラスとなりました。
- 為替市場要因はポンドを筆頭に多くの組入通貨が対円で下落したことからマイナスとなりました。

3 今後の運用方針

引き続き、様々な通貨の国の国債、州債、政府保証債、国際機関債を主要投資対象とし安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。債券の組入比率は高位に維持します。

ドル円相場は、米国の政治状況や株式等リスク性資産の動向を受け、これまでの上げ幅を縮小させる流れが続いています。また、ユーロ円も、域内各国の選挙等、政治的要因に振らされており、年初来の最低水準をつけてきています。

投資対象としている通貨は、当面米国やユーロ圏の政治イベントや政策運営が最も大きな影響を持つと考えられます。加えて、引き続き資源価格、中国等新興国を含む世界景気の動向、リスク性資産の動きにも左右されると見込まれます。米国では、大統領の政策運営、およびそれに伴う株価等リスク性資産の動向は引き続き注目材料になるとみています。また、金融環境が緩和的であることが各種指標から示唆されており、大きな景気の腰折れやリスク性資産の下落がなければ、FRBは緩やかな利上げを継続すると予想します。欧州ではEU加盟継続の是非を問う機運の継続、各国で予定されている選挙など、政治的な要因の注目度は当面高く、特に選挙前などには債券、為替ともに売られやすい状況が起り得ると考えます。また、中東、東アジアなどでは地政学的リスクも懸念されています。今後はそれぞれの材料に対する市場の反応やその傾向の変化を慎重に把握しつつ、通貨アロケーションや金利戦略を検討する方針です。

運用については、原油等資源市場の今後の動き、中国等新興国の景気・政策等にも留意し、組入国のファンダメンタルズや財政・金融政策の変化に応じて対応していきます。カントリーアロケーションについては、引き続き利回り水準の向上が図れる通貨の組入比率を高位に維持しつつ、グローバル金融市場の変動性の高まり、金融政策の方向性などに留意し、組入比率調整を検討します。また、年限別の魅力度や個別銘柄ごとの要因を考慮したポートフォリオ調整を実施していく方針です。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2016年4月6日～2017年4月5日		
	金額	比率	
(a) その他費用	2円	0.013%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は15,950円です。
(保管費用)	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	2	0.013	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2016年4月6日～2017年4月5日)

○公社債

			買付額	売付額
外	カナダ	国債証券	千カナダドル —	千カナダドル 1,710
		地方債証券	624	592
	イギリス	国債証券	千ポンド —	千ポンド 1,722
		国債証券	—	—
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローナ —	千スウェーデンクローナ 15,012
	特殊債証券	42,448	—	
国	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 2,848	千ノルウェークローネ 2,147
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 754	千オーストラリアドル —
		特殊債証券	3,498	3,840 (470)
ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル —	千ニュージーランドドル 632	

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎主要な売買銘柄

○公社債

買 付		期 末	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
EUROPEAN INVT BK 5%(スウェーデン)	179,668	TREASURY 1.25%(イギリス)	240,762
QUEENSLAND TREAS 4%(オーストラリア)	167,468	SWEDISH GOVRMNT 4.25%(スウェーデン)	181,504
EUROPEAN INVT BK 1.25%(スウェーデン)	127,851	TREAS CORP VICT 5.75%(オーストラリア)	163,075
NED WATERSCHAPBK 0.7%(スウェーデン)	115,137	CANADA-GOV'T 9%(カナダ)	145,879
AFRICAN DEV BANK 2.75%(オーストラリア)	107,343	EUROPEAN INVT BK 6.125%(オーストラリア)	56,743
EUROPEAN INVT BK 0.5%(スウェーデン)	99,610	BRIT COLUMBIA 4.3%(カナダ)	47,062
AUSTRALIAN GOVT. 4.5%(オーストラリア)	59,282	NEW ZEALAND GVT 6%(ニュージーランド)	46,926
ONTARIO PROVINCE 3.5%(カナダ)	49,615	QUEENSLAND TREAS 6.25%(オーストラリア)	44,404
NORWEGIAN GOV'T 3.75%(ノルウェー)	38,254	QUEENSLAND TREAS 6%(オーストラリア)	41,356
		NORWEGIAN GOV'T 4.5%(ノルウェー)	28,109

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子は含まれておりません。)

(注2)国内の現先取引によるものは含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等(2016年4月6日～2017年4月5日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
カ ナ ダ	千カナダドル 5,810	千カナダドル 7,502	千円 620,168	% 19.8	% —	% 19.8	% —	% —
イ ギ リ ス	千ポンド 1,210	千ポンド 1,638	225,778	7.2	—	3.7	3.5	—
ス ウ ェ ー デ ン	千スウェーデンクローナ 39,440	千スウェーデンクローナ 41,651	512,314	16.3	—	10.7	5.6	—
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークローネ 36,540	千ノルウェークローネ 39,840	513,939	16.4	—	—	16.4	—
オ ー ス ト ラ リ ア	千オーストラリアドル 9,620	千オーストラリアドル 10,311	864,524	27.6	—	3.6	15.3	8.7
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	千ニュージーランドドル 3,970	千ニュージーランドドル 4,386	339,298	10.8	—	—	7.0	3.8
合 計	—	—	3,076,024	98.1	—	37.8	47.9	12.5

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)—印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	種類	利率	当 期		末		償 還 年 月 日
			額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(カナダ)		%	千カナダドル	千カナダドル	千円		
CANADA-GOV' T 9%	国債証券	9.0	1,010	1,593	131,722	2025/ 6/ 1	
ONTARIO PROVINCE 3.5%	地方債証券	3.5	1,330	1,457	120,465	2024/ 6/ 2	
ONTARIO PROVINCE 5.6%		5.6	2,500	3,391	280,326	2035/ 6/ 2	
QUEBEC PROVINCE 3.5%		3.5	970	1,060	87,652	2022/12/ 1	
小 計					620,168		
(イギリス)			千ポンド	千ポンド			
TREASURY 4.25%	国債証券	4.25	600	831	114,564	2032/ 6/ 7	
TREASURY 8%		8.0	610	806	111,214	2021/ 6/ 7	
小 計					225,778		
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ			
EUROPEAN INVT BK 0.5%	特殊債券 (除く金融債)	0.5	7,720	7,718	94,937	2022/ 7/19	
EUROPEAN INVT BK 1.25%		1.25	10,140	10,216	125,657	2025/ 5/12	
EUROPEAN INVT BK 5%		5.0	12,200	14,327	176,222	2020/12/ 1	
NED WATERSCHAPBK 0.7%		0.7	9,380	9,390	115,497	2023/ 1/25	
小 計					512,314		
(ノルウェー)			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ			
NORWEGIAN GOV' T 3.75%	国債証券	3.75	9,690	10,791	139,207	2021/ 5/25	
NORWEGIAN GOV' T 4.5%		4.5	26,850	29,049	374,732	2019/ 5/22	
小 計					513,939		
(オーストラリア)			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
AUSTRALIAN GOVT. 3.75%	国債証券	3.75	620	662	55,520	2037/ 4/21	
AUSTRALIAN GOVT. 4.5%		4.5	580	690	57,931	2033/ 4/21	
AFRICAN DEV BANK 2.75%	特殊債券 (除く金融債)	2.75	1,350	1,358	113,880	2020/ 2/ 3	
NSWTC-DOMESTIC 6%		6.0	3,000	3,244	272,044	2019/ 4/ 1	
QUEENSLAND TREAS 4%		4.0	2,760	2,881	241,556	2019/ 6/21	
QUEENSLAND TREAS 5.5%		5.5	1,310	1,474	123,592	2021/ 6/21	
小 計					864,524		
(ニュージーランド)			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル			
NEW ZEALAND GVT 6%	国債証券	6.0	2,500	2,848	220,318	2021/ 5/15	
NZ LGFA 5%	地方債証券	5.0	1,470	1,538	118,980	2019/ 3/15	
小 計					339,298		
合 計					3,076,024		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2017年4月5日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	3,076,024	98.1
コール・ローン等、その他	58,891	1.9
投資信託財産総額	3,134,915	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(3,121,759千円)の投資信託財産総額(3,134,915千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1カナダドル=82.66円、1ポンド=137.82円、1スウェーデンクローナ=12.30円、1ノルウェークローネ=12.90円、1オーストラリアドル=83.84円、1ニュージーランドドル=77.35円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年4月5日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,134,915,929円
コール・ローン等	13,156,704
公 社 債(評価額)	3,076,024,451
未 収 利 息	44,516,356
前 払 費 用	1,218,418
(B) 負 債	1,185
そ の 他 未 払 費 用	1,185
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	3,134,914,744
元 本	1,955,598,176
次 期 繰 越 損 益 金	1,179,316,568
(D) 受 益 権 総 口 数	1,955,598,176口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,030円

◎損益の状況

自 2016年4月6日
至 2017年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	132,345,155円
受 取 利 息	132,345,155
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 208,832,105
売 買 益	39,580,891
売 買 損	△ 248,412,996
(C) 信 託 報 酬 等	△ 434,761
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 76,921,711
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,362,358,425
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	8,179,468
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 114,299,614
(H) 計 (D+E+F+G)	1,179,316,568
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,179,316,568

(注1) 当親ファンドの期首元本額は2,127,328,030円、期中追加設定元本額は13,350,532円、期中一部解約元本額は185,080,386円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、私募通貨分散外国債券ファンド2008-01 適格機関投資家専用1,504,687,690円、通貨分散外国債券ファンド310,428,742円、通貨分散債券オープン140,481,744円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.6030円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注7) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。